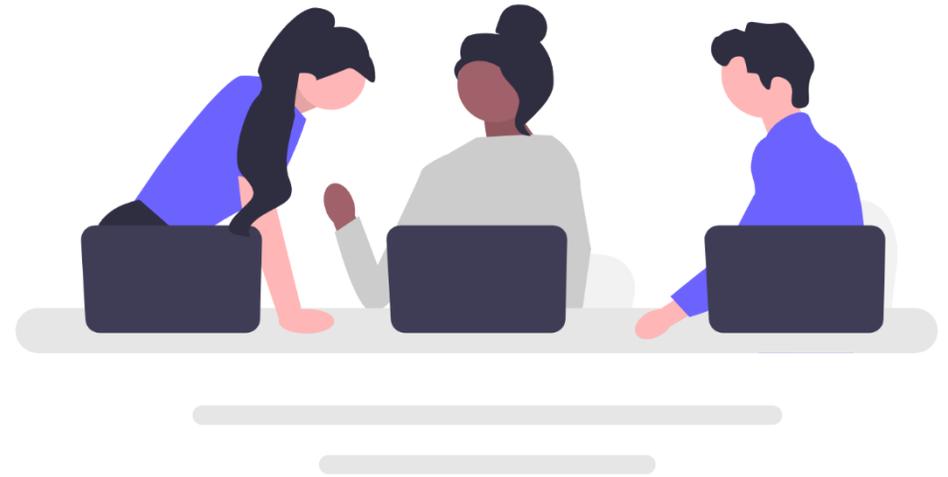


鶴岡WBCプロジェクト第2期 若手職員政策提案



本日の内容

- 【1】 イントロダクション**
- 【2】 施策提案の背景**
- 【3】 3つの施策提案**
- 【4】 まとめ**

【1】 イントロダクション

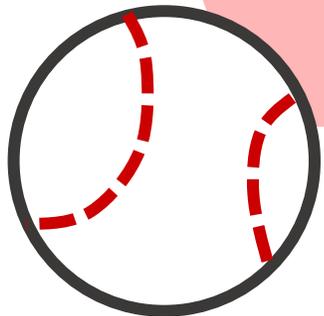
WBCとは？（再確認）

「こどもまんなか」の趣旨に沿った政策の
提言・立案や事業化を行う。

Wakamono

Birth

Challenge



若者

発想を生み出す

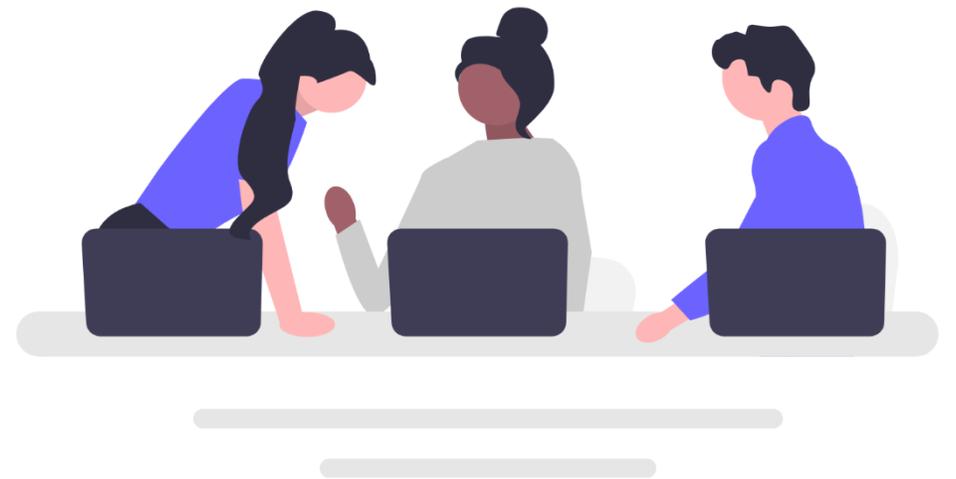
困難な課題にチャレンジ

既存の枠組みにとらわれない柔軟な発想で

若者や子育て世代に選ばれるまちづくりを推進します。

当初の私たち

「子どもまんなか」っていうぐらいだし、
子育て支援が一番かな…？



今の私たち

子育て支援より先に、
もっと若い女性を
増やさないと
ダメだ！



【2】 施策提案の背景

～ 社会情勢・トレンドから見た
現状分析と考察 ～

当初の考え1

少子化が進んでいるのは、
夫婦の子ども的人数が
減っているからでは…？

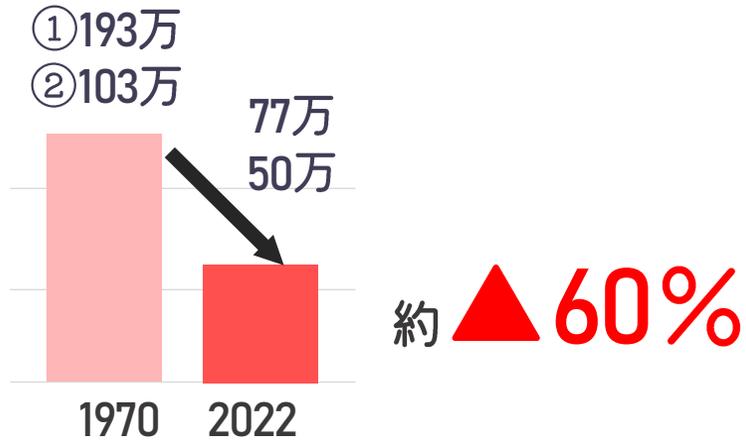


現実

若い女性と婚姻数が減っているから！！！！

★ 少子化の最たる原因は、婚姻数の減少

① 出生数 ② 初婚同士婚姻数



③ 既婚者出生力 (① ÷ ②)

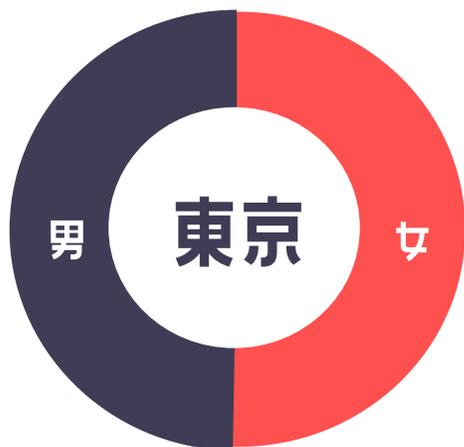


カップル
なくして
出生なし

(初婚) 婚姻数の減少が、
出生数の減少に直結

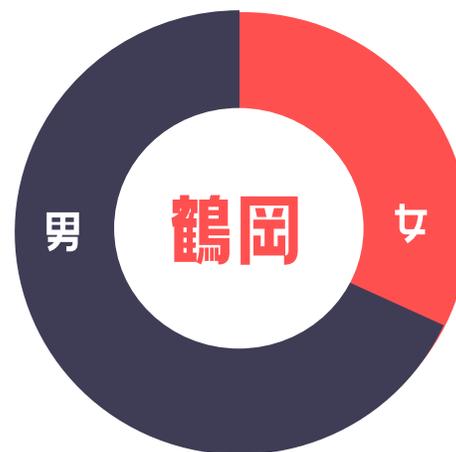
★ 若者の東京一極集中が進み、地方の男女比バランスが崩れている

女性の転入が多い。
マッチングすれば
ほぼ全員結婚できる



男女比1 : 1

一部の男性は、出会いの時期
(20代前半)に相手女性がいない



男性が女性の1.4倍

「若い女性を地方に回帰させる方法」を真っ先に考えるべきではないか!?

≪ 東京都の比率は総務省・東京都「住民基本台帳人口移動報告」を基に、研修動画中で示されたもの。
鶴岡市の比率は令和2年国勢調査より引用 ≫

当初の考え2

鶴岡から若い女性が減っているのは、
高校・大学や、子育て支援策が
不足しているからでは…？



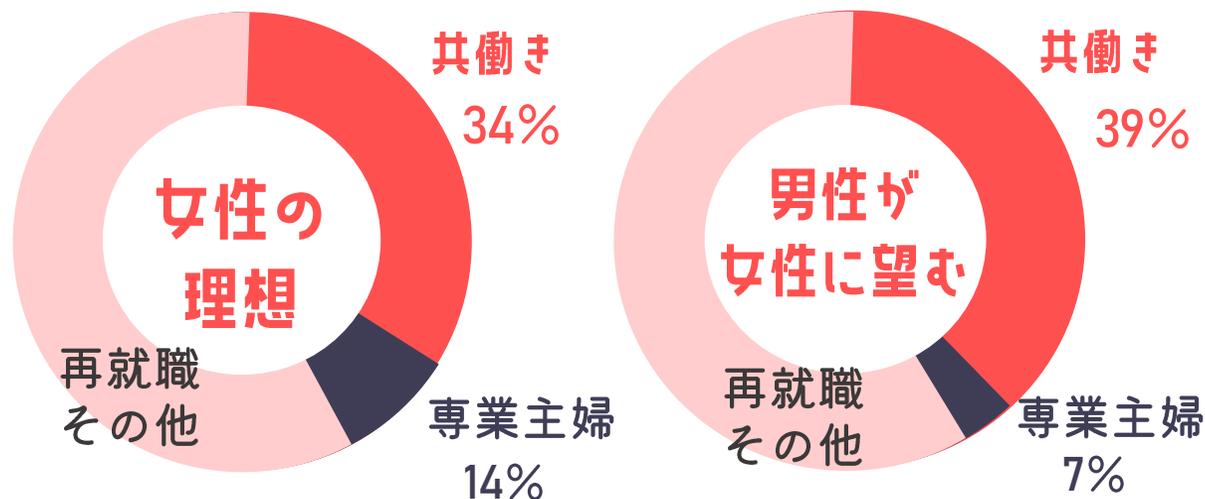
現実

若者は仕事のある所に移動する！！！！

★ 若者の価値観は「仕事」「経済力」重視にシフト

★若者の理想の家族形態

→ 現在「夫婦共働き」が最多



★女性が活躍できる

「えるぼし認定」企業

→ 半数が東京に集中

※ 2023年3月時点



女性の東京一極集中が進む理由の1つに、就職先の充実度があり、女性に選ばれる就職先の確保が必要！

《 各種数値は、社会保障・人口問題研究所「第16回出生動向基本調査」を基に、研修動画中で示されたもの 》

現状分析・考察 (1) 社会情勢・トレンド



- 東京なら、
- ・希望する就職先がある！
 - ・自分の夢ややりたいことを実現できそう！

- 地元には、
- ・やりがいのある仕事がない
 - ・女性の多様な雇用先を増やしてほしい
 - ・閉塞感や退屈なイメージを変えてほしい

若い女性たちは「希望する・やりがいのある仕事」を失ってまで地方を選ばない！

当初の考え3

婚姻数が減っているのは、
若者の価値観が変わったからでは…？
晩婚化が進んでいるからでは…？



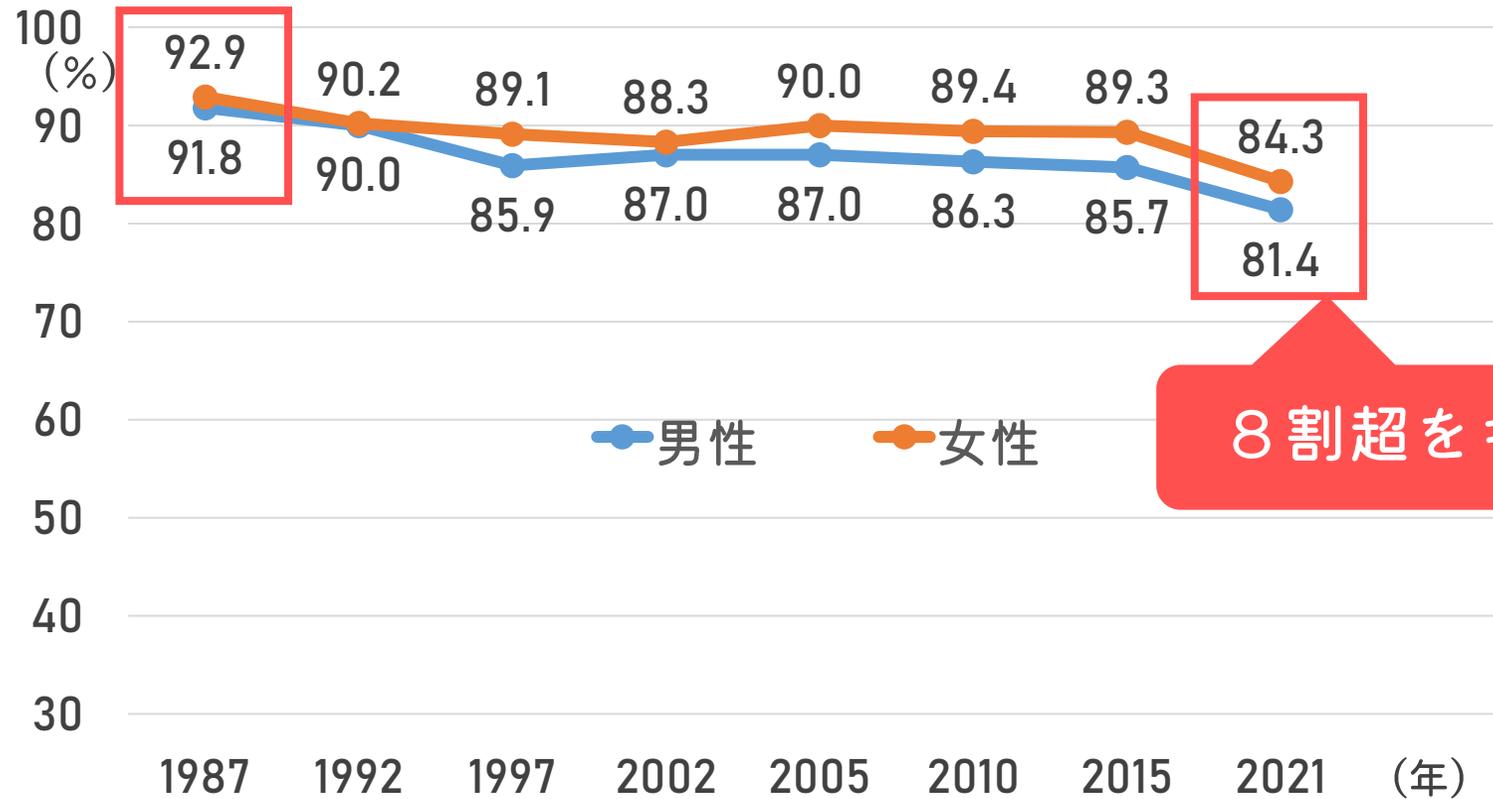
現実

20代の若者が「結婚したいのにできない」
状態に陥っている！！！！

★ 「若者の結婚離れ」は、それほど進んでいない

「いずれ結婚するつもり」と考えている

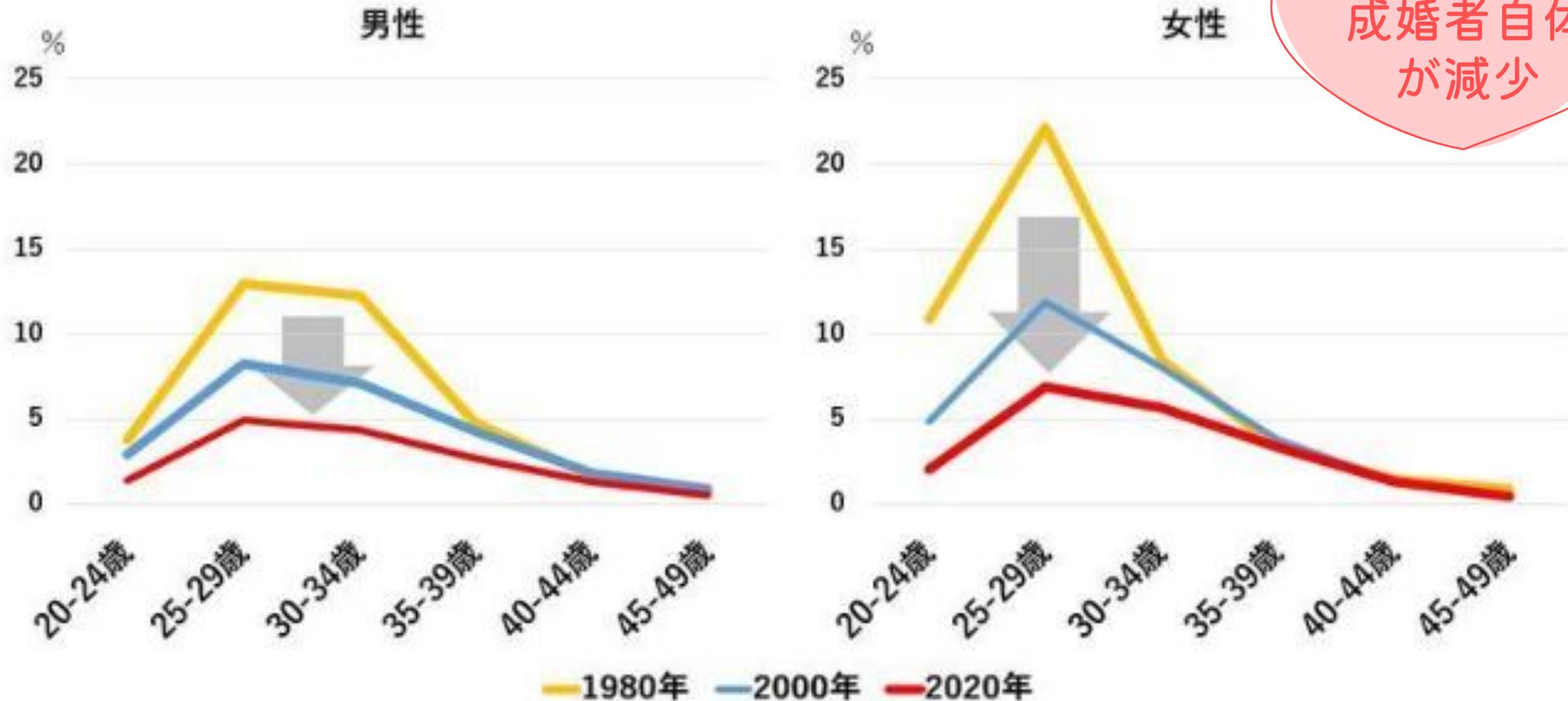
18歳～34歳の未婚者の割合



8割超をキープ

★ 「晩婚化」も進んでいない

男女未婚者初婚達成率推移



晩婚化と
いうよりも
成婚者自体
が減少

« 荒川和久「晩婚化など起きていない。起きているのは若者が結婚できない状況である」 (Yahoo!ニュースエキスパート) より »
<https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/996f53da70149226222b004a4159f5c50eede617>

ここまでのまとめ ～子育て支援から女性回帰へ～

★ 少子化の根本的な原因は、子育て支援の不足で夫婦の子どもの数が減っているわけではなく、20代の婚姻数の減少。

「カップルなくして出生なし」。

★ 地方は若い女性の転出率が高く、男余り。

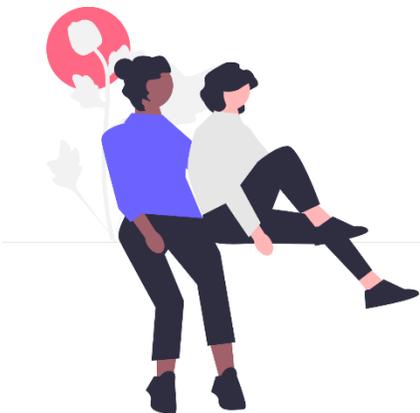
女性の転出理由の多くは「地元の魅力的な仕事がない」。

★ 婚姻数が減少しているのは「若者の結婚離れ」や「晩婚化」が進んだからではない。

市民はどう思っている？

★ 市民の意見（インタビュー－結果抜粋）

（1）高校生（9人）



・職がなければ定住してもらえない

・求人のバリエーションの多さや鶴岡の良さを
知る機会が必要では

・地元就職者に空家の提供や家賃補助、車の購入
費用の助成をしては

（2）社会人若年層（未婚・既婚子なし19人）



・子育て支援の充実と結婚したい・子どもを
産みたいは別の話

・鶴岡に帰りたい、残りたいと思っても、魅力
的な就職先がないと選ばれない

★ 市民の意見 つづき

(3) 子育て世代 (25人)



- ・首都圏のように、きめ細やかな子育て支援をNPO法人に委託しては

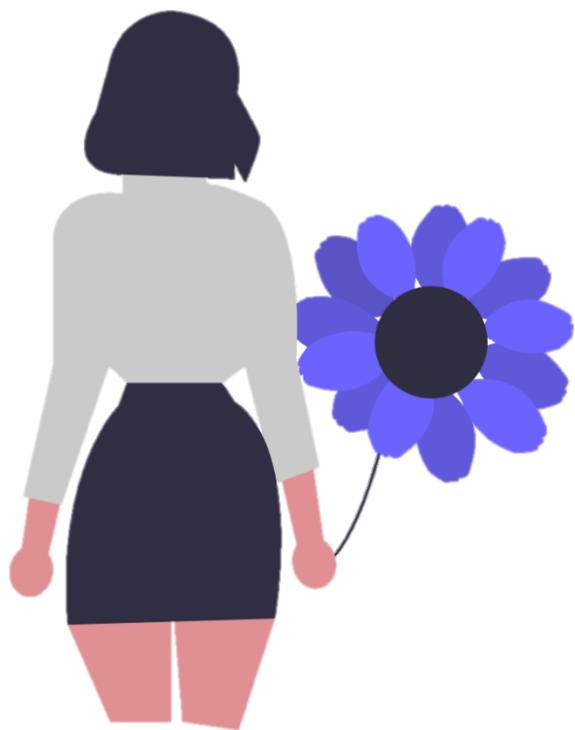
- ・遊休資産を活用した産後ケアやワークスペース整備をしてみても

インタビュー
まとめ

- ・具体的な子育て支援が必要とされている一方で、人口減少の抑制にはより根本の原因、特に就職先の充実が必要との意見があった。

- ・「当たり障りのない施策ではなく、思い切ったことをやってほしい」という意見があった。

こうした現状・考察をもとに考えられたのが…



鶴岡女子

ハッピーターン作戦

【3】 3つの施策提案

若い女性が鶴岡でやりたいことを実現でき、 結婚や出産に前向きになれる環境づくり

1

UIターン就職 希望者実態調査



2

婚活・結婚に 対する機運醸成



3

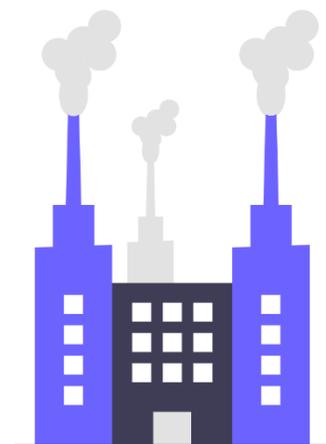
プレコンセプ ションケア情報発信



1. UIターン就職希望者実態調査

現状

地元の中小企業が学生と接触する機会が少ない。



課題

- ・ 大学の新卒等の採用・定着の実態把握が不十分。
- ・ 個別の事業の成果を捕捉できていない。



1. UIターン就職希望者実態調査

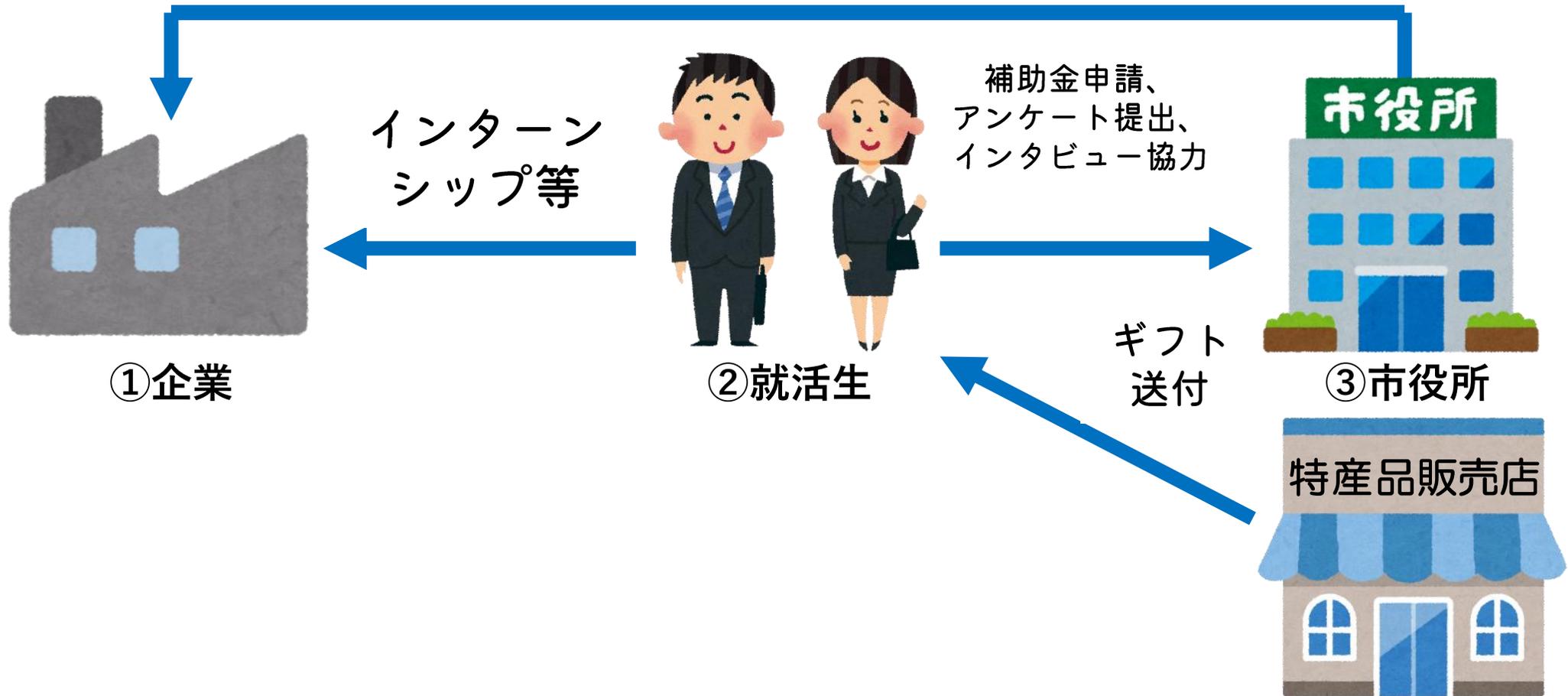
事業概要・目的

- (1) 就職活動に関するアンケート調査、インタビュー
⇒ UIターン就職希望者のニーズ把握
- (2) 調査結果を受入企業にフィードバック
- (3) 地元企業で働く魅力を発信
- (4) 調査協力者に本市特産品ギフトを進呈

1. UIターン就職希望者実態調査

事業概要

アンケート結果フィードバック



1. UIターン就職希望者実態調査

期待される効果

若者の声を活かし、
「働く場所」として
選ばれる地域づくりを！



若い女性が鶴岡でやりたいことを実現でき、 結婚や出産に前向きになれる環境づくり

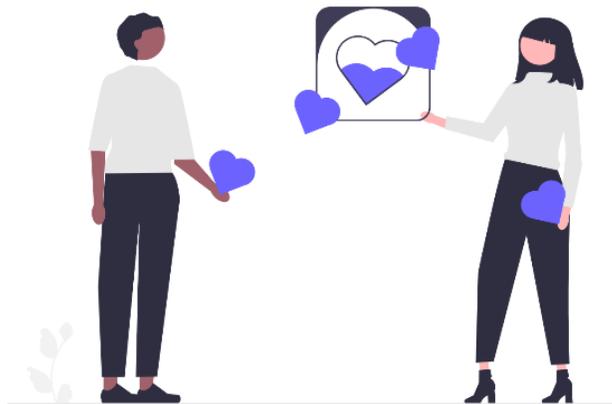
1

Uターン就職
希望者実態調査



2

婚活・結婚に
対する機運醸成



3

プレコンセプ
ションケア情報発信



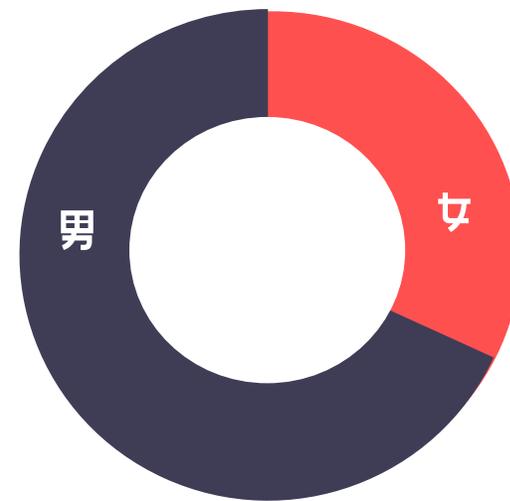
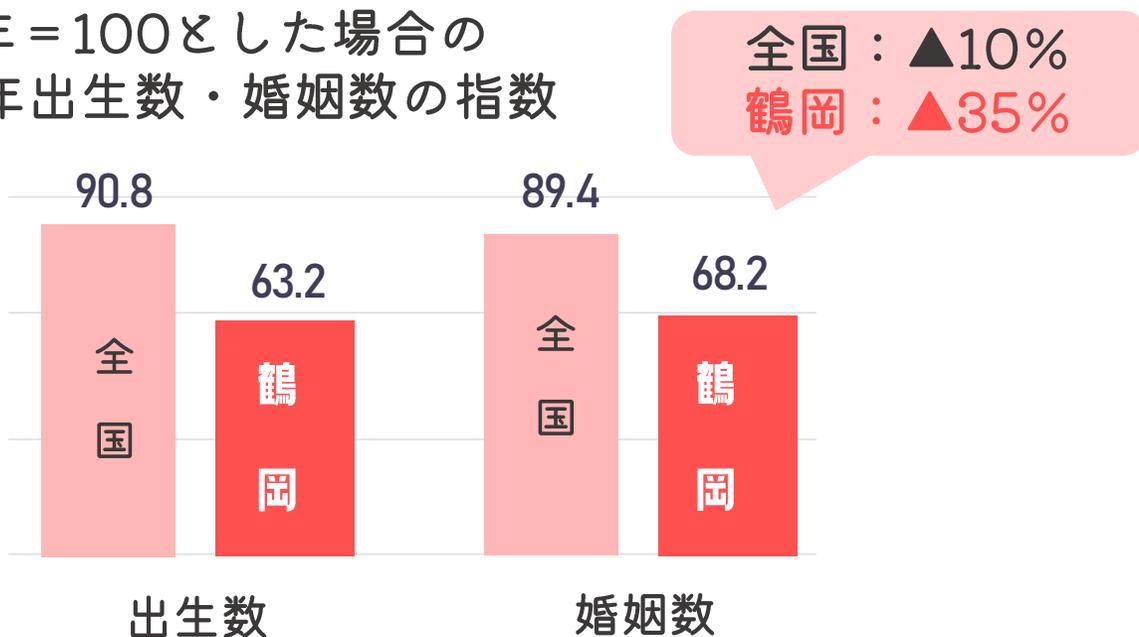
2. 婚活・結婚に対する機運醸成

現状

★ 本市の出生数・婚姻数は
全国平均より大幅に**減少**

★ 本市20～39歳未婚者は
男性が女性の**約1.4倍**

2013年 = 100とした場合の
2023年出生数・婚姻数の指数



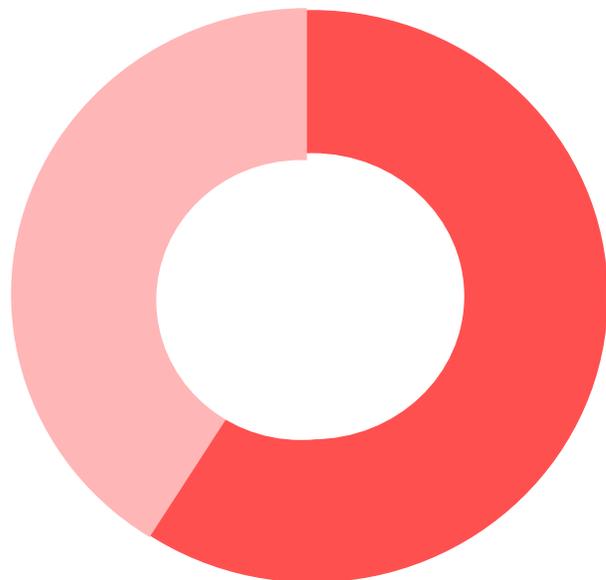
《 令和2年国勢調査より 》

《 厚生労働省「人口動態統計」、鶴岡市住民基本台帳より 》

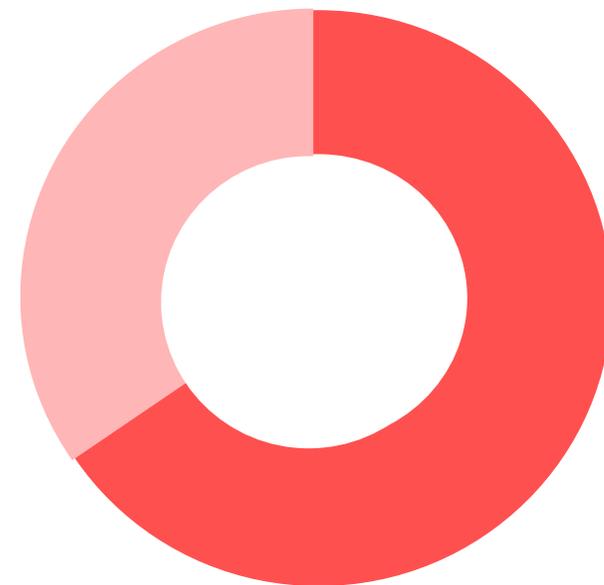
2. 婚活・結婚に対する機運醸成

現状

15歳～39歳未婚者
「恋愛や結婚は面倒」 58.8%



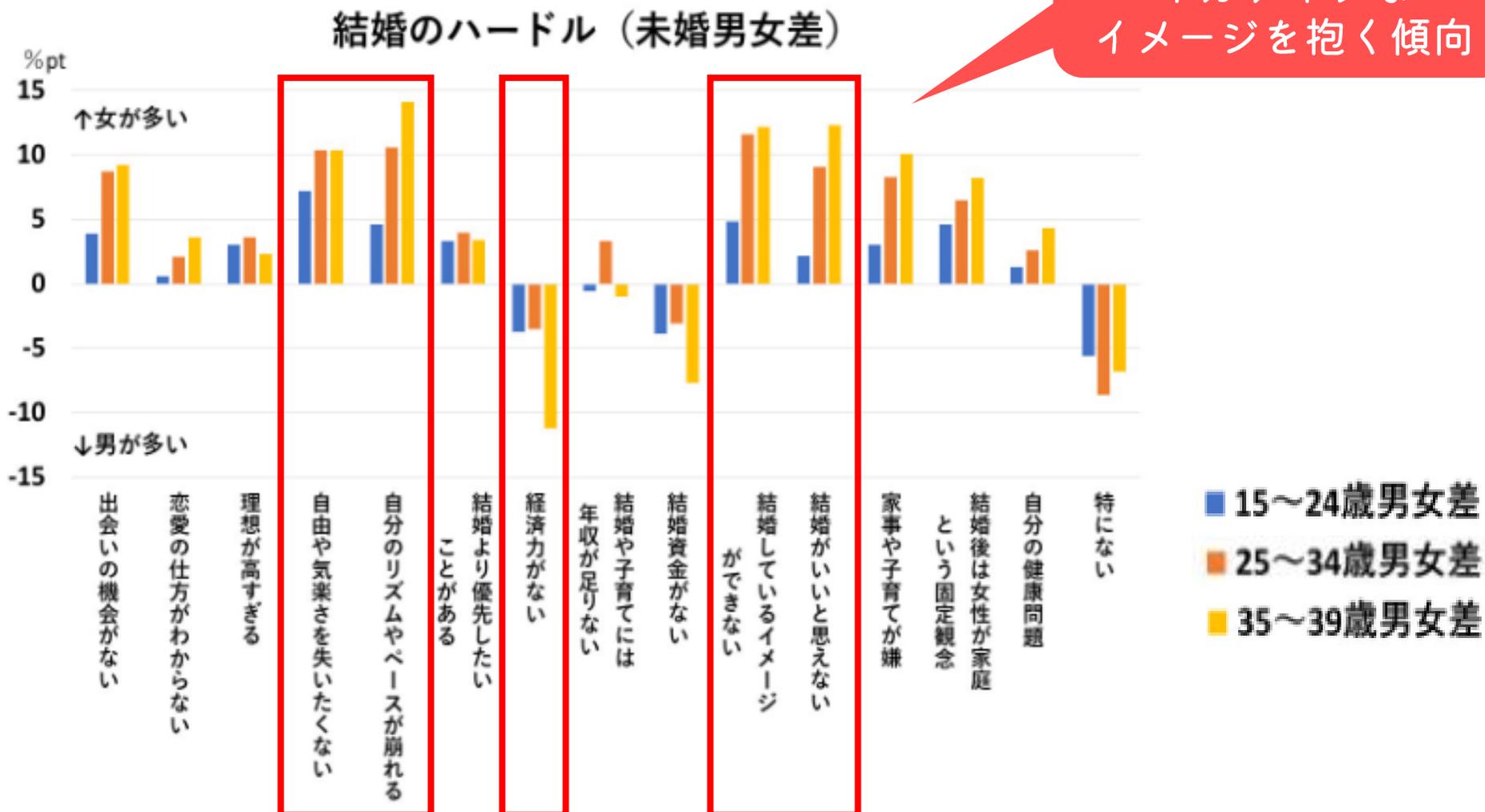
結婚・出産に憧れを抱くシーンは
「周囲からの影響(※)」 68.7%



- ※ ・街中で家族連れを見た
・結婚している友人・知人の話を聞いた
・友人・知人の家族と交流した 等

2. 婚活・結婚に対する機運醸成

現状



女性は結婚に対してネガティブなイメージを抱く傾向

≪ 荒川和久「若者の結婚のハードルの男女差「出会いがない」というが、出会えば誰でもいいわけではない」(Yahoo!ニュースエキスパート)より ≫
<https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/e4794ac7014dc528371945eab91291a48dcc3b45>

2. 婚活・結婚に対する機運醸成

課題

若者（特に女性）が、恋愛や結婚に対するネガティブなイメージを持っている。

2. 婚活・結婚に対する機運醸成

事業概要

「つるおか恋する一句」 (川柳・写真) の募集

例えば、こんな一句を募集

つるおか恋する一句

『赤川の 花火の夜や 恋に落ち』

優秀作品をカレンダーやポスター等に掲載



◀ (写真) やまがたへの旅HPより ▶

2. 婚活・結婚に対する機運醸成

期待される効果

結婚はまだ早いと思っ
てたけど、ちょっと考
えてみようかな…

「つるおか世話焼き
委員会」
っていうのがあるん
だ！
相談してみようかな
…

周りの人もいろいろ相談に
乗ってくれるみたいだ。
ありがたいな…

結婚とかめんどくさいと
思ってたけど、いいことも
たくさんあるのかな？



『赤川の 花火の夜や 恋に落ち』



若い女性が鶴岡でやりたいことを実現でき、 結婚や出産に前向きになれる環境づくり

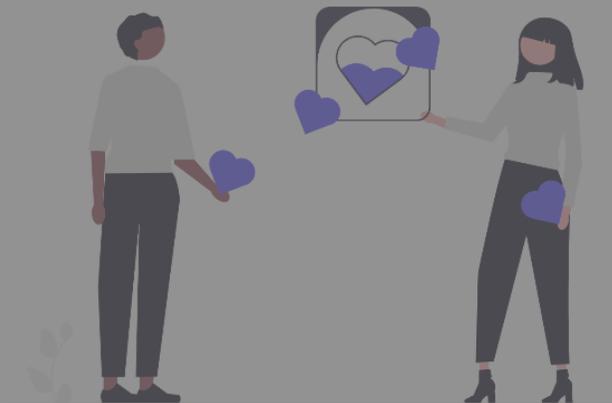
1

Uターン就職
希望者実態調査



2

婚活・結婚に
対する機運醸成



3

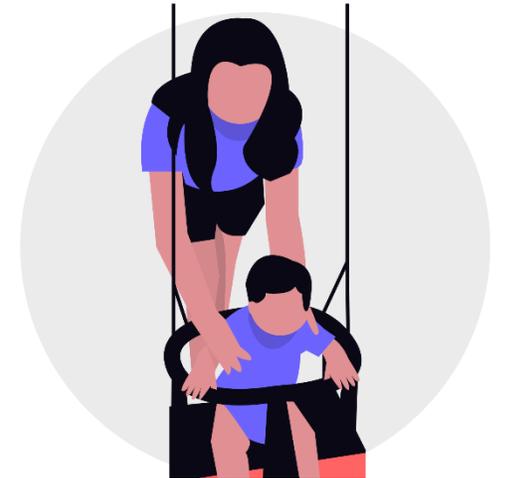
プレコンセプ
ションケア情報発信



3. 「プレコンセプションケア」情報発信

プレコンセプションケアとは…

コンセプション(Conception)は受胎、つまりおなかの中に新しい命を授かることをいう。プレコンセプションケアとは、**将来の妊娠を考えながら女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うこと。**



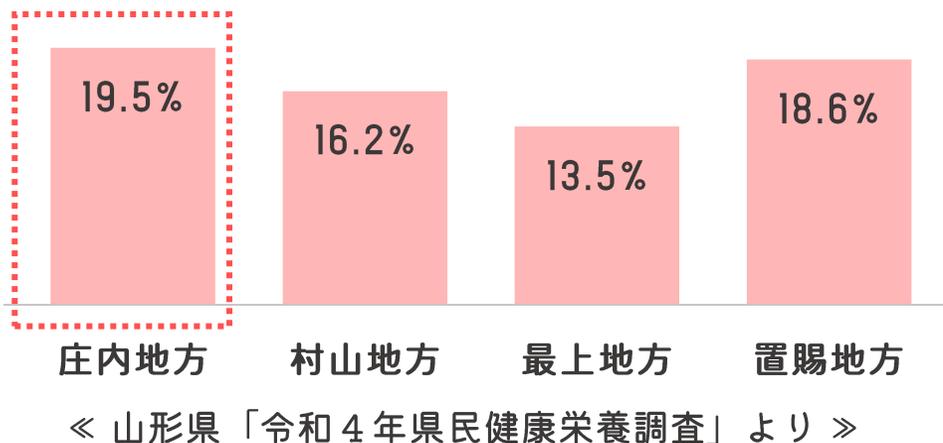
《 国立成育医療研究センターHPより引用 》

3. 「プレコンセプションケア」情報発信

現状

★庄内地方の若者は生活習慣が乱れがち！？

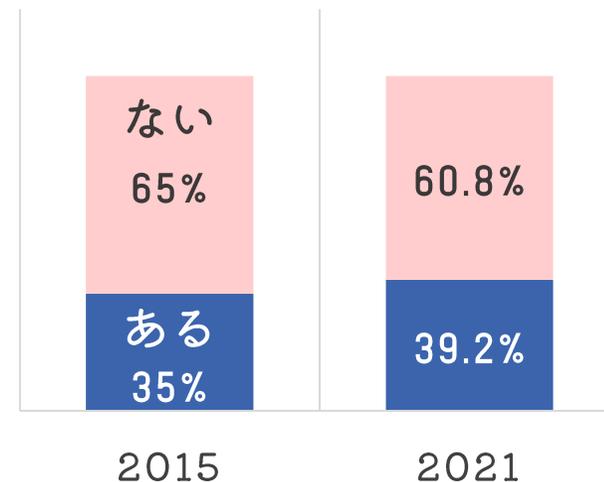
- ・ 県内20代女性及び30代女性「やせ」割合



- ・ この他に、「野菜摂取量や運動習慣が全国平均を下回っている」とのデータもあり

★不妊を心配する夫婦は増加傾向に。

不妊を心配したことがある夫婦の割合



国立社会保障・人口問題研究所「第16回出生動向基本調査」より

3. 「プレコンセプションケア」情報発信

課題

- ・ 健全な妊娠・出産が妨げられ、希望する人生設計を実現できない若者が増えることで、人口減少につながってしまう恐れがある。
- ・ 妊娠や生活習慣の改善に関する知識を習得する機会が少ない。



3. 「プレコンセプションケア」情報発信

事業概要・目的

鶴岡の資源を活かし、「鶴岡ならではの」
プレコンセプションケアを企画、発信

- ・ 健全な妊娠・出産のチャンスを増やす
- ・ 市民全体の健康を増進する
- (+ 鶴岡の食文化や地元食材への関心を高める)

妊娠しやすくなる
生活習慣って??

鶴岡の食材を使った
こうのとりのレシピ

保健体育の授業
以来の話だ

男性にも不妊の
原因がある!?

イメージ
(提供元：天童市)

なぜプレコンセプションケアが大切なのでしょうか

1. リスクのある妊娠が増加している
若い女性のやせと肥満の増加、出産年齢の高齢化などから、リスクの高い妊娠が増えています。
2. 不妊の悩みを持つ人が増加している
「生理不順を放置していた」「生理痛を我慢していた」等が将来の不妊の原因になることがあります。男女問わず、妊娠や出産に関する正しい知識を得て行動することが大切です。
3. 人生100年時代を生きるために
子どもを持つ選択をする、しないにかかわらず若いうちからの健康づくりを行うことで、今の自分がより健康になり、自分が思い描くライフプランの実現に繋がります。

若いうちから正しい知識を持ち、健康的な生活習慣を身に付けることで、自身の将来の健康や子どもを産む方には健やかな妊娠や出産につながり、未来の子どもの健康の可能性を広げます。

母性の健康
妊婦の健康
産後の健康
成人
成長
若年期
老年期
性成熟期
更年期
老年期
性成熟期
更年期
老年期
母性の健康
妊婦の健康
産後の健康
成人
成長
若年期
老年期
性成熟期
更年期
老年期
性成熟期
更年期
老年期

いまなぜ
プレコンセプション
ケアなの?

- リスクのある妊娠の増加
若い女性のやせと肥満の増加、出産年齢の高齢化などから、リスクの高い妊娠が増えています。プレコンセプションケアを行うと、妊娠リスクを減らすことができます。健やかな生活習慣・出産を促すことが大切です。

3. 「プレコンセプションケア」情報発信

期待される効果

周りの人が
不妊治療のことを理解して
くれるようになった！

彼氏（夫）が
将来のことを真剣に
考えてくれるようになった！

生活習慣を改めてみたら
妊娠できた！

鶴岡の食材っておいしくて
健康にもいいんだね！

若いうちから健康に
気を付けるのも大切だよね



【4】まとめ

なぜ少子化が進んでいるか

婚姻数の減少

なぜ婚姻数が減少しているか

若い女性の減少

なぜ若い女性が地方で減少しているか

20代女性の流出により男余り
20代の婚姻数が大幅に減少

地方では希望する人生設計が
実現できないのでは

- ・ 就職希望者の実態把握が不十分
- ・ 結婚に対するネガティブイメージ
- ・ 健康を意識する機会が少ない
(上記 + 「古い価値観」の押し付け)

Uターン
就職希望者
実態調査

婚活・結婚
に対する
機運醸成

「プレコンセプ
ションケア」
情報発信

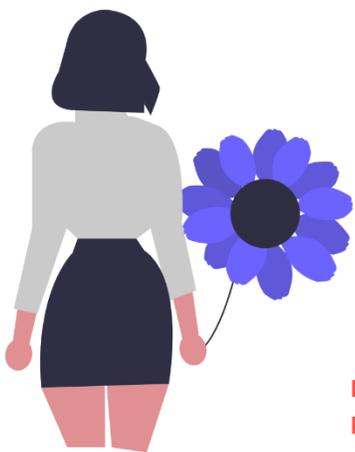
あくまでも今回の政策提案は、小さな一歩。
常に「全庁ごと」として考え、少しずつ取り組みを大きく。

将来像

若い女性が鶴岡でやりたいことを
実現しやすい職場が増える



鶴岡での結婚や出産にも
前向きになれる環境が整う



若い女性に選ばれるまち・鶴岡へ